

第3回岐阜県少子化対策専門家研究会開催結果

1 日時

令和4年11月24日（木） 10時00分～11時25分

2 場所

Z o o mによるW e b会議

（事務局配信会場 県庁12階男女共同参画・女性の活躍推進課分室）

3 出席者

<委員>

| | |
|-----------|-----------------------------|
| 岩澤 美帆 | （国立社会保障・人口問題研究所 人口動向研究部 部長） |
| 菊本 舞 | （岐阜協立大学 経済学部 准教授） |
| 中村 紘子 | （株式会社OKB総研 調査部 主任研究員） |
| （座長）松田 茂樹 | （中京大学 現代社会学部 教授） |
| 松波 匡宜 | （株式会社十六総合研究所 主任研究員） |

以上5名

4 議事

- （1）菊本委員報告「地域経済・地域社会の変容と少子化問題」
- （2）松田座長報告「自治体における少子化の要因と対策の基本的な考え方
ー<狭義の少子化対策>と<広義の少子化対策>をー」

5 議事要旨

別紙のとおり

第3回岐阜県少子化対策専門家研究会・議事要旨

1 開会

- ・事務局からあいさつ

<事務局>

- ・前回研究会において、質問があったことについて回答

2 議事

(1) 菊本委員報告「地域経済・地域社会の変容と少子化問題」

<菊本委員>

- ・「地域経済・地域社会の変容と少子化問題」について報告

(2) 松田座長報告「自治体における少子化の要因と対策の基本的な考え方

ー<狭義の少子化対策>と<広義の少子化対策>をー」

<松田委員>

- ・「自治体における少子化の要因と対策の基本的な考え方ー<狭義の少子化対策>と<広義の少子化対策>をー」について報告

※質疑応答等

<岩澤委員>

- ・資料の図において、地域で雇用が生まれ、収入を得て生活をする中で、付加価値の部分本社に流れてしまうという話があったが、税金を含め、お金の流れについて、図に含まれるかどうか確認させていただきたい。
- ・生活者にとって買い物をする場所など、境界というのはあまり関係ないものであるが、子育て支援など県を跨いでサービスを受けることは、昔と同様で難しいものなのか。

<菊本委員>

- ・岩澤先生からご指摘いただいた点について、先ほど地域経済循環の数字で、所得に関するところは、働くことによって得られる収入や、国からの交付税だとか社会保障の給付や補助金といったようなものも、資料中の図の中に含まれている。
- ・また、岐阜県の特徴としては、県外の愛知県等に働きに行く方も非常に多いので、地域外で働いて得られた収入についても分配の所得のところにおいて、計上されている数字となる。

- ・RESASにおいて、その地域全体としていかに稼ぐ力があるかということを示しているが、一方で、岐阜県の状況で強調しておきたい点としては、せっかく稼いだお金の使う先が地域内ではなく、地域外にあるという点である。
- ・投資されたり、或いは、知らず知らずのうちに金融市場で流れて、岐阜県外のところもつとえば世界市場に金融市場に流れてしまっているという現実があったり、その住民のお金の使い道の先としても、県内のお店で買うよりも、県外で使う傾向が、この8年あまりの間に進んでしまっている。

<事務局>

- ・都道府県を跨いだ子育て支援のサービスの提供は、少ないのが現状であるが、現行のサービスの1例を言うと、子育て支援パスポート事業というものがある。
- ・子育て支援パスポートを子育て中の家庭に配布し、協賛を得た企業・店舗において各種割引・優待サービス等が受けられるもので、全国規模で取り組まれている。
- ・岐阜県の場合でいえば「ぎふっこカード」という名称で、これを持っていれば岐阜県内だけでなく、全国でサービスが受けられる。
- ・ただ、都道府県を跨いだ子育て支援サービスは、実施主体が市町村ということもあり、なかなか難しいのが現状である。
- ・一方、県内の市町村を跨いだ子育て支援サービスについては、多胎児支援ということでピアサポーター制度がある。
- ・大規模な市町村であれば、ピアサポートも受けられるが、例えば白川村のような自治体ではピアサポーターがいないため、近隣の高山市等の近い自治体でピアサポートが受けられる仕組みづくりを県内で行っている。
- ・また、国の方で補正予算にも話題になっているが、妊娠出産の伴走型の相談や10万円の経済支援について、来年度にかけて仕組みができるということもあるので、国の主導の動きの中で充実していくと良いと思っている。
- ・もし都道府県を跨いだ子育て支援のようなもので、有効なものがあったら教えていただきたい。

<松波委員>

- ・菊本委員の報告の中に、お金が地域から「漏れ」出てしまう「漏れバケツ」の理論があったが、2019年に弊社が発行した提言書のなかで調査した2014年の高山市のデータによると、情報通信等のクリエイティブな産業が地域外に流出していることによって、約370億円が流出していることが分かり、非常に重要な問題だと感じた。
- ・産業構造別にその地方にとっては何が足りないのか検討し、企業誘致等で補い、雇用を確保し、地元でお金が落ちる流れを作るため、産業構造に着目していくことは重要だと感じた。

<中村委員>

- ・菊本委員の報告における、マルチ・スケール・コミュニティを反映した子育て政策への考え方については、地方創生関係で岐阜県内の自治体側から聞かれる声と共通しているところが多い。過疎地域への移住後の定住条件に関する課題などは実際に起きている状況でもあり、岐阜県の現状を再認識させていただいた。
- ・松田座長の報告においても、少子化対策について、その地域に合った形での多様な政策メニューをパッケージ化して実施することが大切であると感じた。
- ・現在の岐阜県を含む各地の移住定住政策は、子育て世帯をターゲットとするPRや方策が多く見受けられ、単身者がUターンしようと思っても、単身者向けの住宅の不足、収入と家賃のバランスが合わないなど、現場でのミスマッチがあるのではないかと思う。
- ・単身者をターゲットとした移住定住政策の効果があるのであれば、単身者の受け皿としての地域づくりを行うことは大事であり、ひいては出生率を上げていくことに繋がっていくと思う。
- ・商業施設等の利便性などが、女性のUターンの意向に影響することは、その通りだと思う。いわゆるベッドタウンと呼ばれる日進市、長久手市、みよし市といった地域の出生率が高い理由の一つは、商業施設などが充実している他、大学病院などもあり、女性にとって働くこと以外に、生活を楽しむことができる地域になっているからだと感じる。
- ・岐阜県の南部も、そのような傾向が見られる一部地域については、転入者が多いのではないかと推測する。

<岩澤委員>

- ・松田座長の、事業を幅広く実施することにより、少子化対策の効果があげられるという説明について同感であるが、一方で議員や行政の方から「一番効果がある手立ては何か」ということや、「優先するべきものは何か」ということを聞かれる。
- ・1つ実施するから解決するというものではないと説明をするが、松田座長が聞かれた場合、どのように答えるのか知りたい。
- ・自治体の方が少子化対策を論ずると、誘致や人を持ってくるという話になるが、ゼロサムよりはマイナスサムの状態になっており、持ってくることができなくなっている。
- ・そうなると、最後はその地域で何か生み出すしかないと思うが、ベッドタウンや小さな自治体で考えても、残っているのは高齢者や中高年しかいない。
- ・少子化対策として、直接そういう方々が生むわけではないが、広義の少子化対策を考え、その地域を支えていく意味では、元気な高齢者であり、しかも昔と違って今の高齢者は、体力的にも精神的にも若い方がたくさんいるので、そのようなことも含めて少子化対策を考えていくことが、唯一前向きにできることかと思う。

<松田委員>

- ・松波委員がおっしゃっていたように、各自治体によってどこの産業が欠けているか、弱いかを分析し、強化していくことを検討する等、産業構造の視点をもつことは非常に大事だと思う。
- ・中村委員から話があったように、岐阜県が子育て世帯を移住のターゲットにしているのであればそれはそれで良いが、それに加えて、若い単身世帯にアプローチをしていくことも大事だと思う。子育て世帯を明確にターゲットにしているのが明石市である。明石市には神戸市やその周辺から子育て世帯が移住しており、子育てしやすい環境であるため、さらに子供が増えている。それを愛知県で実践している自治体が日進市や長久手市である。
- ・名古屋市内だと、既に住宅費用が高いため、そこから離れて住宅費用が抑えられ、なおかつある程度利便性が高い場所というと、日進市や長久手市になり、子育て世帯をうまく受けて入れている状況である。しかしながら、東への展開についても、長久手市はリニモの乗車が必要であったり、日進市は地下鉄の終点であったりなど、交通の便の関係で限界がきているのではないか。
- ・岐阜県の南部は十分競争力があると思う。
- ・岐阜県の南部は今後の子育て世帯の受け皿として、一つの選択肢になるように感じる。
- ・岩澤委員が言った点は非常に考えさせられるものであり、一番効果がある施策についての回答は宿題とさせていただきたい。
- ・また中高年の方が地域を支えているという視点を含めて少子化対策を考えていく必要があることは同感である。

3 その他

- ・事務局から研究会報告書の進捗状況について説明
- ・第4回研究会の開催について確認

4 閉会